

3・11東日本大震災・福島原発事故9周年 さよなら原発・大牟田市民のつどい

東日本大震災・福島原発事故から9年となります。福島県では今も4万以上が避難生活を余儀なくされ、住民の帰還も復興も道半ばです。にもかかわらず安倍政権は被災者支援の打ち切りや縮小を次々行っています。さらに政府主催の追悼式を10年を目途に2021年に打ち切る方針ですが、これらは福島県民だけではなく私たちの心を逆なでするもので、住宅再建支援の継続・強化、被災者の生活と健康の不安の解消、被災した企業、事業者の再開支援が今も求められています。

四国電力伊方原発3号機の運転差し止めを求める仮処分の即時抗告審で広島高裁（森一岳裁判長）は1月17日、「同原発の2キロ以内に活断層がある可能性は否定できない」として、運転を差し止める決定をしました。同原発の運転を認めない司法判断は2017年の同高裁決定に続き2回目です。闘い続けることが大切です。

原発はエネルギーの問題、経済の問題以上にいのちの問題です。わたしたちのふるさと、そして私たちの命と暮らしを守るために、玄海・川内原発を直ちにやめさせましょう。集会への参加をよろしくお願ひします。

2020年**3月8日(日)**午後2時～
大牟田市築町公園

集会次第

オープニング
～黙祷・主催者挨拶～



◎脱原発・脱炭素社会をつくろう!
～放射能と気候危機は人類生存の脅威～
「戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会」
代表 工藤逸男さん

1953年生まれ。元教育労働者。2014年「戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会」結成。2017年「佐賀県知事へ玄海原発再稼働に不同意を求める！署名」40280筆提出。現在、福岡市を中心として、脱原発、改憲反対、辺野古新基地建設反対などの街頭宣伝活動や、西区での脱原発チラシのポスティング活動に取り組んでいる。

◎「原発なくそう！九州玄海訴訟」報告
弁護士 田上普一さん（弁護士法人しらぬひ）
全員合唱・集会アピール

集会後、ゆめタウンまでデモ

玄海・川内原発、
直ちに止めよう！